

# 島根県立 島根中央高等学校



地域をフィールドに、「楽しい」ことが出発点

## しまん-Chu♡!

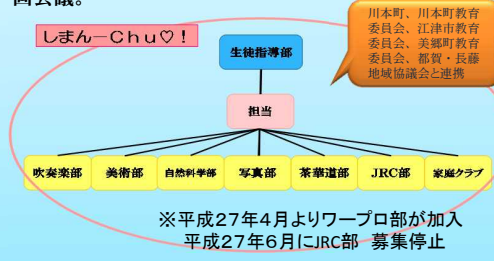
### 学校概要

- 平成19年度、川本高校と邑智高校が統合再編され、新設校として開校。
- 県内唯一の普通科コース制・総合選択制。
- 平成24年1月、ユネスコスクールに認定。
- 平成24年度より離島・中山間地域の高校魅力化・活性化事業に取り組む。



### 活動体制

- 平成26年7月に設置。
- 文化部全員がメンバー。吹奏楽部、美術部、自然科学部、写真部、茶華道部、JRC部、家庭クラブ、ワープロ部が連携し、連合体を構成。それぞれの得意分野を活かして活動。
- 定期的に各単位部活動の部長・リーダーが集まり企画会議。



### 平成26年度の活動概要

- 楽しいことが出発点、地域行事に参画。
- 地域に飛び出した校外文化祭の開催（江津市桜江町、邑智郡美郷町）を軸に地域を知る、地域に気付く・考える、地域に伝える活動を展開。
- 地域の課題を生徒の視点で考え、問題解決に向けた「楽しいこと」を企画し、地域をフィールドに実践。

#### 【主な活動】

- 七夕弓の市、ええなあ祭り川本、三原っ子ふれあい合宿、川本町産業祭等の町内催事に参加
- 伝統芸能と光の祭典国際ワグヤップ（邑智郡美郷町）に参加、竹オブジェづくりを実施
- 桜江町いきいき祭り（江津市桜江町）、しまん-Chu♡!リアル美郷町駅伝（邑智郡美郷町）に参画、町外文化祭を企画・運営
- 道の駅グリーンロード375（邑智郡美郷町）の振興に参画

### 平成26年度の活動の様子



### 平成26年度を振り返って

- 次も参加したい、小さな子どもと接することが楽しいという声や、積極的・意欲的に企画する等、生徒の意識に変化が生まれる。生徒の主体的な取り組みへの発展に期待。
- 地域から、また来てほしい、地域で生徒の顔が見える!!と評価の声も。
- 既存の部活動の連合体スタイルであるため、元々の部活動との両立が課題。
- 今後は地域との連絡調整体制の確保、学校全体での共通理解の充実を目指す。

### 平成27年度の計画・方針

- 「楽しい」の輪を広げよう  
～地域の中で自分たちが実践していることを実践していこう～
- 常時活動の定着  
道の駅「グリーンロードだいわ」での高校生レストラン接客補助、地域の文化祭や祭り等の町内催事等の参加。

#### 【主な活動】

- さくらまつり弓の市、七夕まつり弓の市、ええなあ祭り川本、三原っ子ふれあい合宿、川本町産業祭等の町内催事に参加
- 市山環境保全会（江津市桜江町）との共同企画（環境保全の看板作り、黒米スイーツ開発等）
- 桜江町いきいき祭り（江津市桜江町）、美郷町民文化祭（邑智郡美郷町）に参画、町外文化祭を企画・運営
- 道の駅グリーンロードだいわ（邑智郡美郷町）の振興に参画

### 平成27年度の活動～発展～

#### 桜江町×しまん-Chu♡!

音楽フェスタ2015インさくら（平成27年9月）

市山環境保全会の看板作り調査（平成27年4月）

桜の塩漬作り（平成27年4月）

桜の塩漬入り黒米蒸しパン開発（平成27年6月）

#### 美郷町×しまん-Chu♡!

おうちプラス同好会ゲスト出演（平成27年4月）

グリーンロードだいわでのメニュー開発&接客補助（平成27年5月～月1回）  
株式会社だいわもんど・美郷町地域振興課との連携

#### 川本町×しまん-Chu♡!

みさと町民文化祭（平成27年6月）

さくらまつり（平成27年4月）  
川本町商工会と連携

三原っ子ふれあい合宿（平成27年8月）  
川本町教育委員会と連携

### 部員の想い

- 祭りに参加することで、普段の部活動を更に充実させていかなければと感じた。地域の方に喜んでもらえるような演奏をしたい。また、楽器体験コーナーなど新しい企画をしてみたい。【吹奏楽部・女】
- 手作りお菓子を喜んでもらえて、うれしかった。「中央高校の手作りお菓子のファン」だと言って下さる方もいらっちゃった。【家庭クラブ・女】
- オリジナル手ぬぐいづくり用に消しゴムハンコを用意したが、消しゴムの側面を使った小学生の発想力は僕らを軽く超えていた。集中力にも驚きを隠せなかった。【美術部・男】
- 抹茶を初めて点てた小学生の目がキラキラしていて、教えているこちらも嬉しかった。【茶道部・女】

### 指導者の想い

- まずは、普段の部活動を基本とし専門分野に関する知識や技術力をつける。さらに地域との交流を通じ、自分たちの技術を確認したり、企画力を試す機会をつくる。
- 本校は県外からの入学生も多くおり、地域との交流やイベントを通して高校近隣の地域を知るきっかけにしてほしい。更に学校近隣の地域の課題について生徒自身が主体的に考え、計画し、実践、見直すことにより、次回の交流の動機付けとしたい。
- 活動で得た「楽しいこと」を企画する力・コミュニケーション能力を進学先、就職先で生かしてほしい。

### 地域系部活動の促進に向けて keyword：主体性・波及性・継続性

■地域系部活動2年目ということもあり、生徒間職員間の中で活動が定着してきた部分も多い。今後は生徒の活動の主体性を引き出すと共に学校全体の共通理解の更なる充実を目指したい。

- ①主体性…生徒同士の代表者会議（通称G7）の中での計画・実践方法の検討・反省会等
- ②波及性…学校のHPを細かく更新することで、学校関係者や地域の方、保護者等に情報を発信していく
- ③継続性…交通手段の確保（スクールバスや町内バス、教育委員会所有のバスの利用）